

＜対策のポイント＞

加盟国の資源管理能力向上のための支援を通じて、**カツオ・マグロ類等の資源管理の推進、持続的生産及び我が国への安定的な供給の確保**を目指します。

＜政策目標＞

地域漁業管理機関を通じてカツオ・マグロ類等資源の適切な保存管理を実現するために、WCPFCでは毎年6つ、ICCATでは毎年8個の保存管理措置を採択。

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

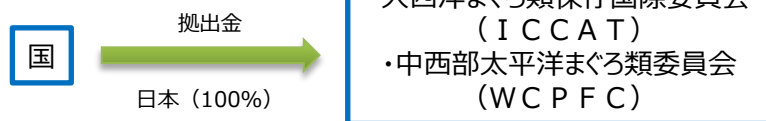
1. 大西洋カツオ・マグロ資源管理能力強化等支援事業 15（16）百万円

- 大西洋におけるカツオ・マグロやサメ類資源の管理に係る監視・取締り措置の実施に必要な人材の開発について、アフリカを中心とする沿岸途上国への支援を行うことで、資源管理能力やIUU漁業対策の更なる強化を図るほか、機器開発や技術開発等をととして日本企業の海外進出を支援します。

2. 中西部太平洋カツオ・マグロ資源管理能力強化等支援事業 22（23）百万円

- WCPFC加盟国のうちミクロネシア等の太平洋島嶼国を対象に、資源管理能力の向上等に加え、管理戦略評価（MSE）実施に対応する人材育成を行うことで、適切な資源管理が行われるよう支援を行い、我が国カツオ・マグロ類漁業者の主要漁場である中西部太平洋における資源管理の推進及びカツオ・マグロ類等の持続的生産及び安定的な供給の確保を目指します。

＜事業の流れ＞



○ICCAT

- ・ 沿岸途上国の行政官や養殖事業者等に対し、人工知能（AI）による養殖クロマグロの迅速かつ正確な推計手法、データ分析方法等に関する研修を実施し、資源管理能力の向上に向けた人材育成・体制構築を行います。
- ・ 資源管理の高精度化に必要な標識放流・耳石収集調査の支援を行います。



○WCPFC

- ・ 電子モニタリング（EM）により収集したデータの分析や電子報告（ER）を活用した漁獲の迅速かつ正確な報告を補助する人材の派遣など、資源管理能力の向上を目指し、人材育成・体制構築を行います。
- ・ 専門家を招いたワークショップを開催し、管理戦略評価（MSE）に関する理解促進を図ります。



【お問い合わせ先】（1）輸出・国際局新興地域グループ
（2）水産庁国際課

（03-3502-5913）
（03-3502-8460）